

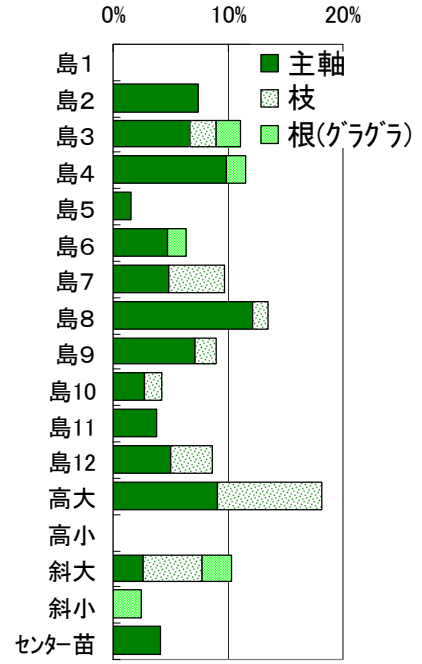
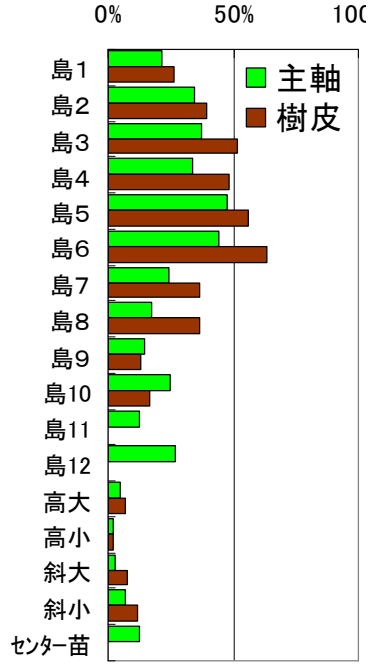
資料 2

平成 21 年ブナ植栽地調査結果

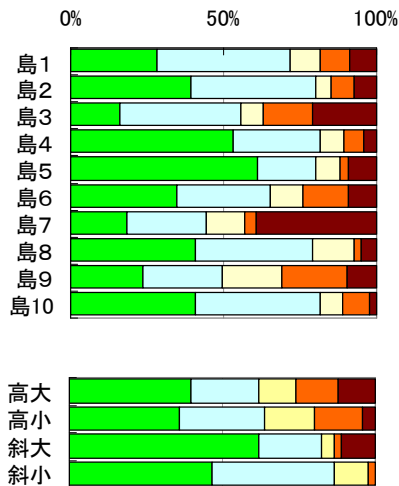
表－1 調査区概要

規格	植え方	堆肥種
島1	小 単	バ、完
島2	小 単	バ
島3	小 単	完
島4	小 3本	バ、完
島5	小 3本	バ
島6	小 3本	完
島7	大 単	バ、完
島8	大 単	バ
島9	大 単	完
島10	小 単	無
島11	極小 単	無
島12	極小 単	無
高大	大 単	耕耘
高小	小 単	+
斜大	大 単	粉殻
斜小	小 単	
センター	極小 単	無

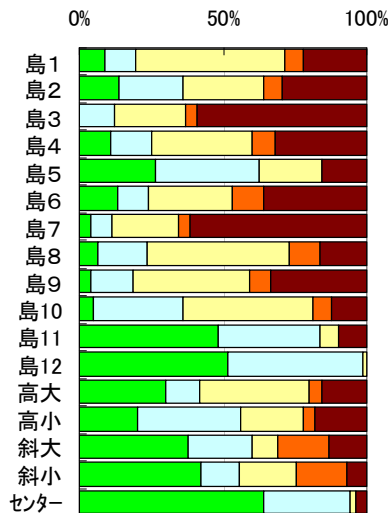
大:100-200cm
小:30-50cm
極小:20-30cm
単:単木植え
3本:3本寄せ植え
バ、完:バーク堆肥5kg
完熟堆肥10%
バ:バーク堆肥10kg
完:完熟堆肥20%



図－1 野ネズミ摂食被害割合 図－2 雪害の被害割合



2007年秋



2009年秋

- 1 健全
- 2 樹高成長に影響の可能性あり
- 3 樹高成長に影響あり
- 4 枯死の可能性あり
- 5 枯死の可能性大(累積枯死含む)

- 1: 健全
(枝葉の枯れ30%未満)
- 2: 樹高成長に影響の可能性あり
(例:頂芽への摂食、樹皮半周摂食、枝葉の枯れ30%以上、斜型)
- 3: 樹高成長に影響あり
(例:雪害主軸折、樹皮半周摂食3以上)
- 4: 枯死の可能性あり
(例:コウモリガ、樹皮全周摂食)
- 5: 枯死の可能性大(累積枯死含む)
(例:新芽がない、樹皮変色)

図－3 植栽木の健全度と変化

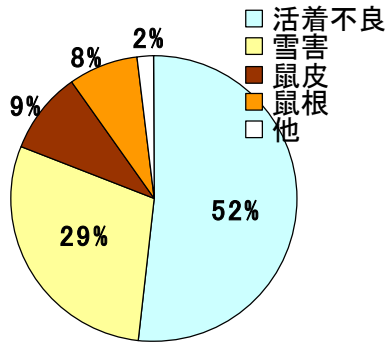


図-4 枯死要因の割合

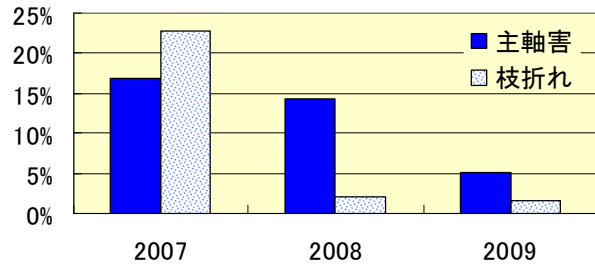


図-5 雪害出現割合の推移

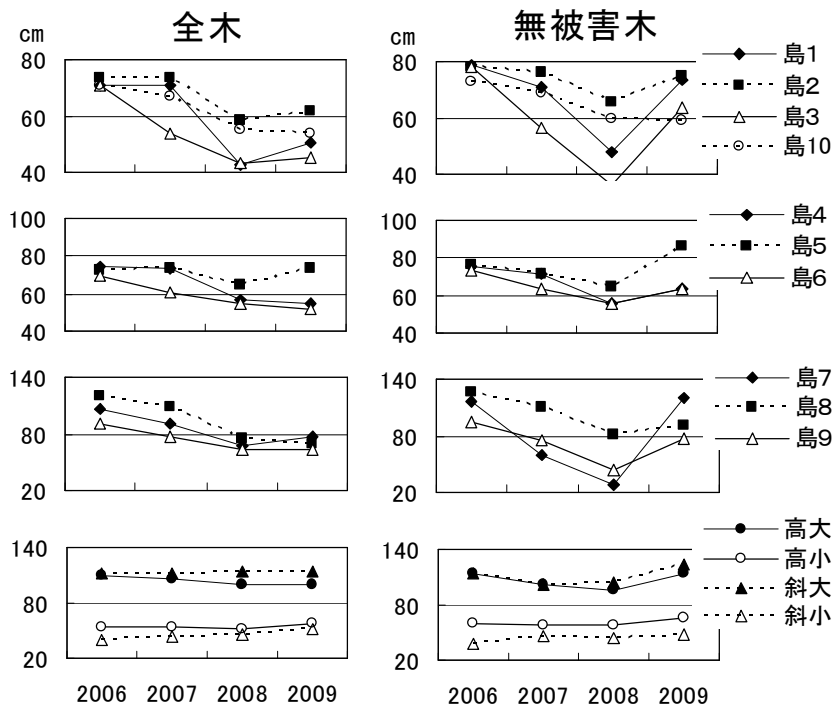


図-6 樹高成長の推移

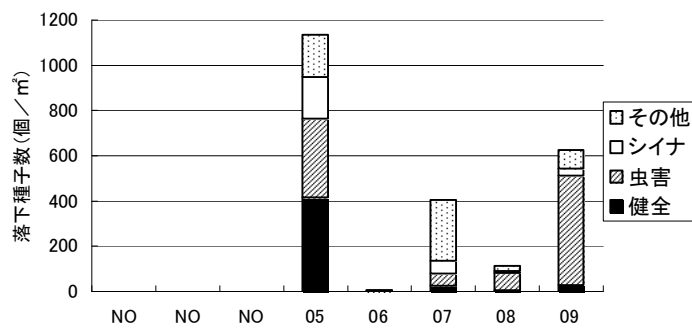


図-7 ブナの結実状況